

対馬暖流は主に沿岸寄りを北上 対馬暖流の流量は平年の3割増 今後の沿岸水温は平年よりもかなり高めで推移

2022年7月26日～30日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、松前からせたなにかけては沿岸寄りを北上しています。せたな以北では、岩内湾沖に暖水渦が形成されているため、対馬暖流は沿岸寄りと渦の西方を迂回する2つのルートに分かれ北上しています。また石狩湾沖では沖合冷水の張り出しがみられ、対馬暖流はこの冷水の東方を迂回し北上しています（図1c）。

対馬暖流の北上流量は約2.0Sv（1Sv=10⁶m³/s）で平年よりも約3割多くなっています（8月流量の平年値は1.5Sv）。

50m深水温は、岩内湾沖の暖水渦がみられる海域で14～16℃となっており、平年よりも2～3℃高くなっています（図1a,b）。一方、沖合冷水の張り出しがみられる海域では、50m深水温は7℃以下になっており、平年よりも2～4℃低くなっています（図1a,b）。

余市前浜水温は7月中下旬が「かなり高い」状態で（※1）、向こう1ヶ月では気温は平年よりも高い予報となっていますので（※2）、沿岸水温は平年よりもかなり高い状態で持続することが予想されます。



※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyou/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>

余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

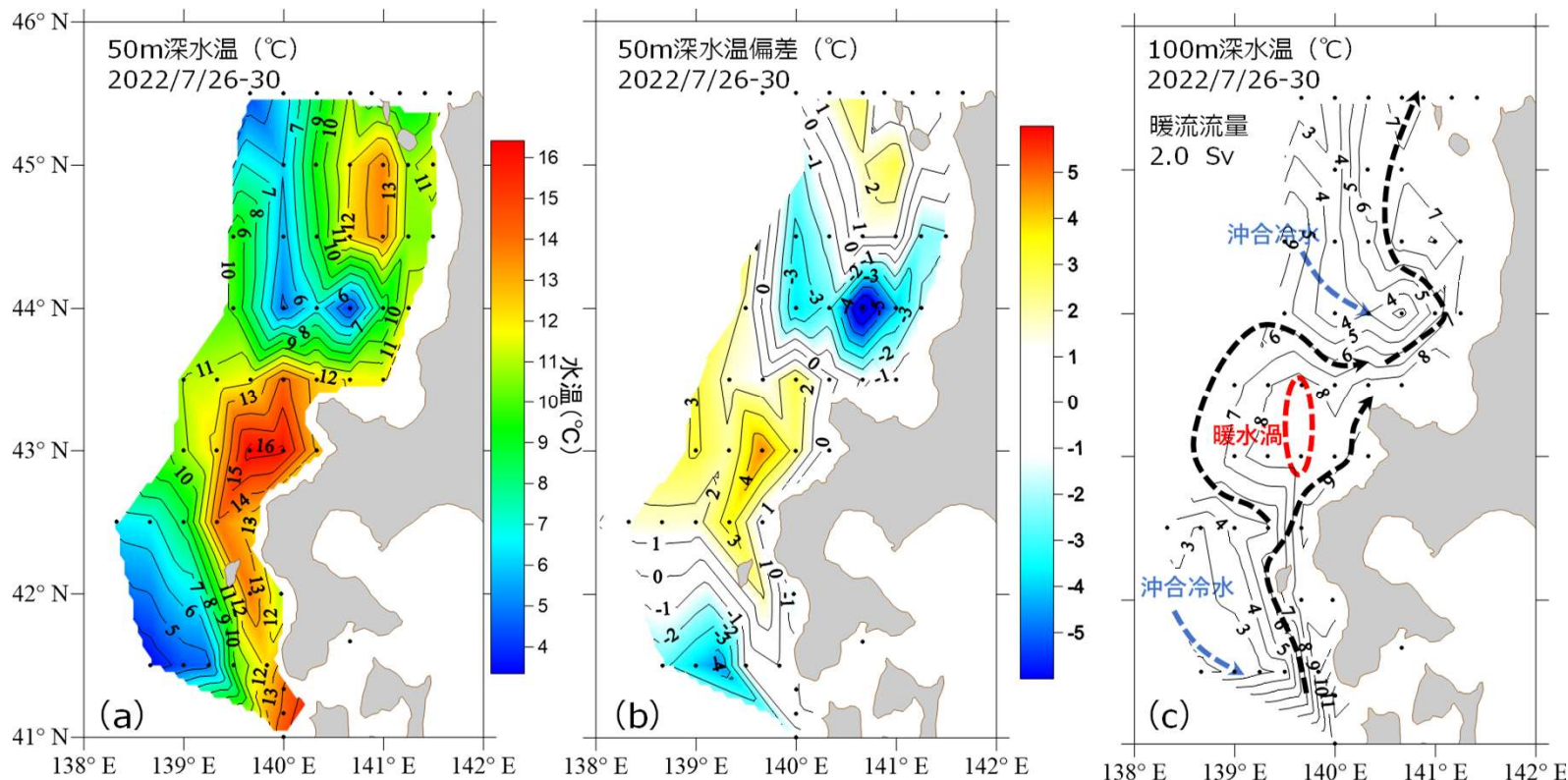


図1 2022年7月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路(矢印)。水温偏差は過去30年(1989年～2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv(=1×10⁶m³/s)。